

文部科学大臣認定免許状更新講習

実務施工体験研修

令和元年度開催報告

本研修の特徴／はじめに	p. 1
近畿（兵庫）会場実施報告（三田建設技能研修センター）	p. 2
中部（静岡）会場実施報告（富士教育訓練センター）	p. 3
九州（福岡）会場実施報告（福岡県建設専門工事業団体連合会）	p. 4
受講者の感想	p. 5
ご案内	p. 7



① 講習の選択領域に対応

免許状更新 + 建設業体験

- ✔ 教育現場における **キャリア教育** に活かせる！
- ✔ 教員免許更新制における **免許状更新講習**（選択領域講習）に対応！
- ✔ 免許状更新が **無くても** 参加可能！
- ✔ **連続3日間** で選択領域講習 18 時間をカバー！
- ✔ 屋根付きの施設で建設業の **体験** ができる！
- ✔ **全教諭** が対象！

② 施工体験が可能

（建設業を体験できる講習）

本財団が3会場で実施する講習のみ

1
9,099

（2019年11月現在の免許状更新講習数）

受講者に聞きました！

この研修を選んだ理由は何ですか？

- ・ 建設現場での実務を経験したいと思ったため（工業高校教諭）。
- ・ 教員になって15年経つので、再確認のため（工業高校教諭）。
- ・ 生徒の進路指導に活かせる体験であると感じたため（中学校教諭）。
- ・ 今後の教育指導（キャリア教育）に活かせると感じたため（小学校教諭）。
- ・ 今までとは違う体験をしたいと思ったため（普通高校）。
- ・ 夏休み中の開催で、料金も手頃であったため（工業高校教諭）。

③ 費用が格安

	兵庫県	静岡県	福岡県
受講料	84,646円 24,000円 (宿泊費込み / 食費別途7,000円)	68,560円 19,280円 (宿泊費/食費 込み)	75,608円 15,000円 (宿泊費/食費 別)

はじめに（総括責任者からのご挨拶）

建設産業は、「まちづくり」や「社会基盤整備」などを通じて国民生活の安全・安心を守るわが国の基幹産業です。令和元年度における建設投資額は約63兆円となる見通しであり国内総生産の約10%を占めています。また就業者数も503万人と就労人口の7.5%を占めています。現在、わが国の建設産業の就労人口はその約3割が55歳以上であり、一方の29歳以下は約1割にとどまっていることから、将来を担う人材の確保・育成が急務の課題となっています。

私どもが主催する「実務施工体験研修」は、国民生活の基盤となる社会インフラを「つくり」、「なおし」、「まもる」仕事の担い手の育て手（指導者等）の確保・育成に産業全体を挙げて取り組む事業の一環として実施しております。「実務施工体験研修」は、建設産業における施工の実務を体験する内容ですが、免許状更新の有無にかかわらず、受講いただくことが可能です。先生方には研修の受講を通じ、建設産業の良いところ、悪いところも含め、実際の姿を目にさせていただきたいと考えております。



令和元年12月
一般財団法人 建設業振興基金
理事 奥地 正敏

近畿

講習日数 3 日

講習時間 18 時間

宿泊 通学

受講料 ¥24,000円 (宿泊費含む)

「三田建設技能研修センター」で学ぶ建設躯体系3職種（鉄筋、型枠、足場）！！

開催期間 2019年8月5日(月)～7日(水)
 場所 職業訓練法人 近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
 (〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘 6-1 / フラワータウン駅 徒歩 13 分)
 主催 職業訓練法人 近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
 一般財団法人 建設業振興基金
 講師 古阪 秀三 氏 (立命館大学 客員教授 工学博士)
 高城 辰哉 氏 (国土交通省近畿地方整備局 建設部建設産業第一課長)
 北浦 年一 氏 (一般社団法人 大阪府建団連 会長)
 依藤 庸正 氏 (三田建設技能研修センター 所長)等
 参加人数 7名(男性7名、女性0名)
 建設系学科高校教員3名、普通科高校教員1名、小中学校教員3名



【研修内容】開講式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(古阪講師、高城講師、北浦講師)、講義「実技の事前学習」、意見交換会、壁・柱配筋、型枠組立、足場組立・解体、筆記試験、閉講式

2019年 兵庫	1時限		2時限		3時限		4時限		昼食	5時限		6時限		7時限		8時限		9時限		10時限	
	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30		12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00
1日目 8月5日 (月)	開講式								休憩昼食	学科・講習① (1.5H)		安全講習 (1H)		意見交換会 (1.5H)		学科・講習② (1.5H)					
2日目 8月6日 (火)	実習(4H)								休憩昼食	実習(5H)								映像講習 (1H)			
3日目 8月7日 (水)	実習(4H)								休憩昼食	意見交換会 (1.5H)		筆記試験 (1.5H)		閉講式							



受講者の感想

親切丁寧な実技指導がよかった。

普段、何気なく目にしている建設現場で行われている作業の一部を実体験できたことにより、施工現場がより身近に感じられるようになった。

→詳しくは5, 6ページに記載

訓練責任者のコメント

三田建設技能研修センター 所長 依藤 庸正



担い手の確保・育成のためには、建設産業界と教育関係者との緊密な連携体制を構築することが求められます。両者がタッグを組み、建設業界の良いところも悪いところもご理解いただいたうえで送り出させていただくことにより、入職後のミスマッチ防止に繋がるものと考えています。

中部

講習日数 **3** 日

講習時間 **18** 時間

宿泊

受講料 **¥19,280円**
(食費・宿泊費含む)

建設職業訓練校の中央拠点「富士教育訓練センター」で過ごす3日間

開催期間 2019年8月7日(水)～9日(金)
 場所 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター
 (〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8 / 新富士駅から無料送迎バス)
 主催 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター
 一般財団法人 建設業振興基金
 講師 浦江 真人 氏 (東洋大学理工学部建築学科 教授)
 濱田 和彦 氏 (国土交通省中部地方整備局 建設産業課長)
 小松原 学 氏 (富士教育訓練センター 校長)等
 参加人数 20名(男性16名、女性4名)
 建設系学科高校教員15名、建設系以外の高校教員4名、土木系職員1名



鉄筋・型枠 組立完了



【研修内容】開講式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(浦江講師、濱田講師、他)、グループ討議「これからの教育のあり方と建設業界への就職について」、墨出し、鉄筋加工、柱・梁配筋、柱・梁型枠組立、監理技術者講習映像「施工現場技術リポート」視聴、柱・梁 型枠・鉄筋解体、筆記試験、閉講式

2019年 静岡	1時限		2時限		3時限		4時限		昼食	5時限		6時限		7時限		8時限		9時限		10時限	
	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
1日目 8月7日 (水)							開講式		休憩昼食		学科・講習① (1.5H)		学科・講習② (1.5H)		安全講習 (1H)		意見交換会 (1.5H)				
2日目 8月8日 (木)			実習(3.5H)					休憩昼食		実習(4H)					映像講習 (1H)						
3日目 8月9日 (金)			実習(3.5H)					休憩昼食		意見交換会 (1.5H)		筆記試験 (1.5H)		閉講式							



受講者の感想

建築系の教員でない、普通科や中学校の先生方の感想がとても新鮮でした。建築を体験してとても楽しかったと話されており、中学校の先生方にもっと参加していただくと業界の裾野が広がるのではないかと思います。

→詳しくは5, 6ページに記載

訓練責任者のコメント

富士教育訓練センター
校長 小松原 学



当センターでは3回目となる本年は、教育現場における実務面の補完及び建設産業の戦略的な広報の2つの観点からカリキュラムの設定を行いました。従来の実績を生かした実務型体験実習と、建設業界関係者とのディスカッションを通して今後の教育活動に活かしていただければと思います。

九州

講習日数 **3** 日

講習時間 **18** 時間

通学

受講料 **¥15,000円**

鉄筋圧接・フォークリフト操縦・小型クレーン操作など、他では味わえない建設業体

開催期間 2019年8月5日(月)~7日(水)
 場所 福岡県中小企業振興センター 他
 (〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15 / 吉塚駅 徒歩1分)
 主催 一般社団法人 福岡県建設専門工事業団体連合会
 一般財団法人 建設業振興基金
 講師 杉田 洋 氏 (広島工業大学 教授)
 天方 正彦 氏 (国土交通省九州地方整備局 建政部建設産業調整官)
 杉山 秀彦 氏 (福岡建設専門工事業団体連合会 会長)等
 参加人数 10名(男性8名、女性2名)
 建設系学科高校教員7名、普通科高校教員1名、中学校教員2名



【研修内容】開講式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(杉田講師、天方講師、他)、講義「建設現場の安全管理」、鉄筋組立、ガス圧接、枠組み足場組立、施工位置測量、墨出し、型枠製作・組立、フォークリフト操縦、ユニック車操作、玉掛け体験、グループ討議「これからの教育のあり方と建設業界への就職について」、筆記試験、閉講式

2019年 福岡	1時限		2時限		3時限		昼食		4時限		5時限		6時限		7時限		8時限				
	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
1日目 8月5日 (月)			開講式		学科・講習 (1H)				意見交換会 (1.5H)		休憩昼食		安全講習 (0.5H)	実習(3.5H)							
2日目 8月6日 (火)			実習(3H)						休憩昼食		実習(4H)										
3日目 8月7日 (水)			実習(3H)						休憩昼食		学科・講習 (0.5H)		意見交換会 (1.5H)		筆記試験 (1.5H)		閉講式				



受講者の感想

すべての実務体験が今後の生徒への指導に生かせると思う。特に、足場の組み立ては今までやったことがなく新鮮であった。また、これはチームワークを大切に、声かけ等安全教育にも十分配慮されていて、実習の授業に取り入れられると思う。

→詳しくは5, 6ページに記載

4

訓練責任者のコメント

福岡県建設専門工事業団体連合会
会長 杉山 秀彦



教員免許の更新は10年に1回です。その貴重な機会を建設実務の体験に充ていただき感謝申し上げます。幅広い建設の世界を知っていただく良い機会なので、3日間楽しく学んでいただき、建設産業で働く楽しみとやりがいをご存分に味わっていただきたいと思っております。

受講後の感想

終了後に行ったアンケートより、回答の一部を紹介します。

講義「建設業界の現状と課題」はいかがでしたか？

- 建設業の変遷について、**データを根拠にした解説**が大変わかりやすかった。
- 建設業の概要から、担い手不足などの課題、OJTで人が育ちにくいなど問題点についても理解を深めることができた。
- 建設業の問題点、特に賃金などの職人の待遇状況について知ることができてよかった。
- 生徒にもわかりやすい内容で、**授業に使いたい**と思います。



保護具着用体験・フルハーネス着用体験についていかがでしたか？

- ハーネスの体験も**見ると経験するとは大違い**で貴重な体験ができた。
- 保護具の着用については、実験映像を交え墜落時の危険性などについて学ぶことができ、着用が必ずしも安全につながらないということを理解できました。また、**実際に装着し吊り下がり体験**ができたことは貴重な体験でした。学習指導において、生徒にもしっかりと伝えたいと思います。
- フルハーネス安全帯での吊下げ体験ができ、**墜落時の感覚がわかりました**。



鉄筋組立体験についていかがでしたか？

- 技術的な部分を学ぶことができた。また、チームでの活動であったため**協働することの意識を高く持つ**ことができた。
- 見る時間がとれないかもしれないが加工図面や、材料表があると良いと思った。
- 鉄筋コンクリートという、誰でも聞いたことのある構造を**肌で実感**できるよい機会でした。
- 建設現場をはたから見ると機械だらけで人肌感などまるで感じないものですが、この実習で「**ビルは手作り**」であることをしみじみ実感できました。



鉄筋ガス圧接体験についていかがでしたか？

- 鉄筋の圧接については、教科書にも出てくるが実際に見て、経験することで**生徒への授業に生かせる**と思う。
- 各種免許は更新し続ける必要があるという事を知り、品質を保つ取り組みがなされていることに感心した。
- 非日常を味わうことができ、**この実習の中で一番楽しかった**。
- 完成された経験値・感覚的な技が必要な職業に大変魅力を感じる事ができた。
- 何がダメで何が良いのか、さらに説明して欲しいとも思ったが、そんなに多くを語らない職人さんの様子も、それはそれで趣があってよいと思った。



受講後の感想

終了後に行ったアンケートより、回答の一部を紹介します。

型枠建込体験についていかがでしたか？

- 生コン打込直前までの作業を体験出来、型枠の形だけの組立てで終わらなかったのが非常に良かったです。
- 学校の授業では、時間の関係もあり鉄筋組み立てのみ行っていましたが、型枠を組んで鉄筋の組み方の善し悪しがわかることも確認できました。
- 鉄筋組・型枠と経験できたので、できればコンクリ打設を模擬的でもいいのでやってみたい気がした。



フォークリフト操作体験についていかがでしたか？

- 貴重な経験ができ大変良かった。ただし、狭い作業場で尚且つ自分も含め慣れない参加者が近くにいるなかでの操作となり、指導教官がついてはいるがミスによる事故が頭をよぎり恐怖心があった。
- 初めて体験しました。授業などでは触れない職種ですが、とても大切な仕事だと感じました。
- 難しかったが、楽しく学ぶことができた。



玉掛け・クレーン操作体験についていかがでしたか？

- クレーン操作は理論の説明もあり、非常に親切に操作を教えていただき勉強になった。
- 玉掛け作業は実際はもっと重く玉掛けしにくい材料だと思うと、難しい作業であると感じた
- 様々な技能があることを実感しました。感覚的なことを分かりやすく教えていただきとても参考になりました。



映像講習についていかがでしたか？

- 物作りの良さが伝わる映像講習で非常によかったです。大人が見てもわくわくする内容なので、学校の生徒達がみたらデカイ物作りのわくわく感と感動を味わえるのではないのでしょうか。こういった映像資料もあると現職の学校の先生に判ってもらえたのは良いと思います。
- 時間的な制約もあると思いますが もっと身近な工事（例えば、木造在来軸組構法の建方や道路工事側溝等附帯工⇒土工⇒路床⇒路盤⇒乳剤散布⇒表層工）等の施工手順がわかるものが普通科の先生方には理解しやすかったと想定しています。
- 生徒に見せたいと思えるほど良くできた映像だったと思う。学校でも活用したいと思った。あべのハルカス、姫路城、スカイツリーなど、有名な建築物の施工技術等を知ることができました。大変面白かったです。



「実務施工体験研修」のご案内

過去に「実務施工体験研修」について、詳しく紹介しています。

平成 29 年度 第1回 実務施工体験研修 報告書

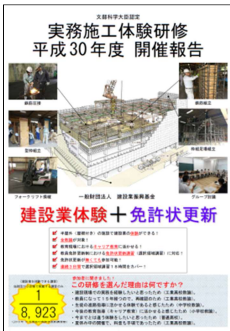


「平成 29 年度 第1回 実務施工体験研修」の報告書は、WEB サイト「建設現場へGO！」より閲覧・ダウンロード可能です。ぜひご覧下さい。



こちらからアクセス
ができます

平成 30 年度 実務施工体験研修 報告書



「平成 30 年度 実務施工体験研修」の報告書は、WEB サイト「建設現場へGO！」より閲覧・ダウンロード可能です。ぜひご覧下さい。



こちらからアクセス
ができます

「建設業しんこう」に掲載



私どもの WEB サイト「建設業しんこう」の FOCUS (フォーカス) のコーナーで「実務施工体験研修」について取り上げています。

メールアドレスを登録すると、毎号発行後に最新情報をお知らせいたします。ぜひご利用ください。

「建設業しんこう」メールマガジン
配信希望はコチラから

<https://www.shinko-web.jp/>



平成 29 年度の実務
施工体験研修の記事
はコチラから



平成 30 年度の実務
施工体験研修の記事
はコチラから

建設業しんこう 実務施工体験研修

検索

来年度の開催

令和 2 年度 実務施工体験研修について

以下は、本研修に係る次年度の開催計画です。文部科学省のホームページより講習検索を行う際の参考としてご利用ください。

- ・領域 選択領域講習
- ・開設者名 一般財団法人 建設業振興基金
- ・講習名 実務施工体験研修
- ・時間数 18 時間

- ・静岡県 2020 年 8 月 10 日～12 日
- ・兵庫県 2020 年 8 月 5 日～7 日
- ・福岡県 2020 年 8 月 3 日～5 日

文部科学省
認定申請中

「建設現場へGO！」メールマガジン
配信希望はコチラから
<http://genba-go.jp/>



WEB サイト「建設現場へGO！」では、開催決定次第、講習の詳細や参加申込開始時期を公表します。

担い手確保・育成に関する様々な情報・動画・コンテンツを公開しています。

実務施工体験研修の報告書はコチラで公開しています。閲覧・ダウンロードが可能です。ぜひご覧ください。



【事務局】 一般財団法人建設業振興基金 経営基盤整備支援センター 人材育成支援課
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階
TEL: 03(5473)4572 FAX: 03(5473)4594 MAIL: jinzai@kensetsu-kikin.or.jp